

NEWS RELEASE

2020年12月1日
株式会社三菱総合研究所

2020年7-9月期 GDP 2次速報予測

株式会社三菱総合研究所(本社:東京都千代田区、代表取締役社長:森崎孝)は、内閣府より12月8日(火)に公表予定の2020年7-9月期のGDP速報(2次QE)について予測を行いました。

2020年7-9月期の実質GDP成長率は、季調済前期比+4.9%(年率+21.0%)と予測します。

今回の2次速報公表にあわせて、2019年度国民経済計算年次推計の反映とともに、約5年に1度の基準改定が行われる。内閣府によると基準改定により、基準年(2015年)の名目GDP水準が1.3%程度上昇するとされている。本予測は、過去系列の改定や季節調整のかけ直し等による成長率への影響は考慮せず、法人企業統計等1次QE以降に公表された統計に基づき実施した。

2020年7-9月期の実質GDP成長率は、季調済前期比+4.9%(年率+21.0%)と、1次速報値(同+5.0%(年率+21.4%))から小幅に下方修正されると予測する。

民間企業設備投資は、法人企業統計調査における7-9月期の設備投資が減少したことを踏まえ、1次QE時点の季調済前期比▲3.4%から同▲3.6%に下方修正されると予測する。民間在庫品増加も、流通在庫の下振れから、下方修正を見込む。一方、公的固定資本形成は、9月の公共工事出来高の上振れを受けて、同+0.8%に上方修正されると予測する。

表 2020年7-9月期 GDP 2次速報 予測結果

単位：断りがない限り 季調済前期比(%)		2020年		1次QE比 修正幅 (%ポイント)
		7-9月期 1次QE実績	7-9月期 2次QE予測	
実質GDP	季調済前期比年率	5.0 (21.4)	4.9 (21.0)	▲0.1 (▲0.4)
民間最終消費		4.7	4.7	0.0
民間住宅投資		▲7.9	▲7.9	0.0
民間企業設備投資		▲3.4	▲3.6	▲0.2
民間在庫品増加	寄与度	▲0.2	▲0.3	▲0.1
政府最終消費		2.2	2.2	0.0
公的固定資本形成		0.4	0.8	0.4
財・サービス輸出		7.0	7.0	0.0
財・サービス輸入		▲9.8	▲9.8	0.0
内需	寄与度	2.1	2.0	▲0.1
民需	寄与度	1.5	1.4	▲0.1
公需	寄与度	0.5	0.6	0.1
外需	寄与度	2.9	2.9	0.0
名目GDP	季調済前期比年率	5.2 (22.7)	5.1 (22.1)	▲0.1 (▲0.6)
GDP デフレーター	前年同期比	1.1	1.1	0.0
国内需要 デフレーター	前年同期比	0.1	0.1	0.0

出所：実績は内閣府「国民経済計算」、予測は三菱総合研究所。

本件に関するお問い合わせ先

株式会社三菱総合研究所
〒100-8141 東京都千代田区永田町二丁目 10 番 3 号

【内容に関するお問い合わせ】

政策・経済センター 田中康就 綿谷謙吾
電話:03-6858-2717 メール:macro-ml@mri.co.jp

【報道機関からのお問い合わせ】

広報部
電話:03-6705-6000 メール:media@mri.co.jp